

堅調な米経済指標から米長期金利が上昇、市場の利下げ期待後退し株は軟調

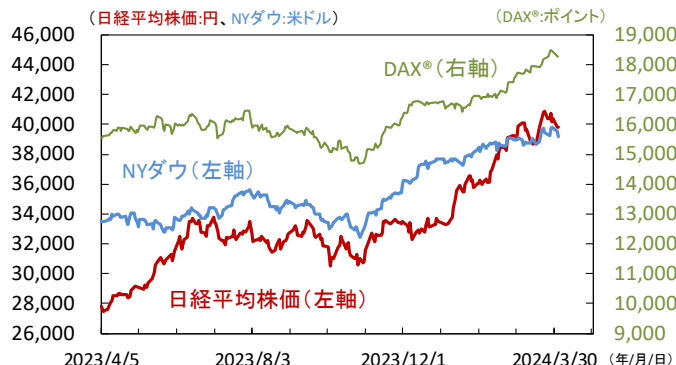
主要金融市場の動き

株式	(単位:ポイント)	4月2日	4月1日	前日差
日本	日経平均株価(円)	39,838.91	39,803.09	35.82
	-CME日経平均先物(円)	39,670.00	39,985.00	-315.00
	TOPIX(東証株価指数)	2,714.45	2,721.22	-6.77
	参考)東証REIT指数	1,778.08	1,790.35	-12.27
米国	NYダウ(米ドル)	39,170.24	39,566.85	-396.61
	S&P500	5,205.81	5,243.77	-37.96
	-S&P500配当貴族指数	4,514.02	4,543.93	-29.92
	ナスダック総合指数	16,240.45	16,396.83	-156.38
ドイツ	DAX®指数	18,283.13	休場	-
英国	FTSE100指数	7,935.09	休場	-
豪州	S&P/ASX200指数	7,887.90	休場	-
中国	上海総合指数	3,074.96	3,077.38	-2.42
香港	ハンセン指数	16,931.52	休場	-
インド	S&P BSE SENSEX指数	73,903.91	74,014.55	-110.64
ブラジル	ボベスパ指数	127,548.52	126,990.45	558.07
先進国	MSCI WORLD	3,403.40	3,424.73	-21.33
新興国	MSCI EM	1,049.93	1,042.07	7.86
商品	(単位:米ドル)	4月2日	4月1日	前日差
原油	WTI先物(期近物)	85.15	83.71	1.44
金	COMEX先物(期近物)	2,270.30	2,245.90	24.40
10年国債利回り	(単位:%)	4月2日	4月1日	前日差
日本		0.750	0.740	0.010
米国		4.353	4.317	0.036
ドイツ		2.411	休場	-
オーストラリア		4.059	休場	-
為替(対円)	(単位:円)	4月2日	4月1日	前日比%
米ドル		151.55	151.63	▲0.05
ユーロ		163.21	162.90	0.19
英ポンド		190.60	190.29	0.16
カナダドル		111.69	111.71	▲0.02
オーストラリア(豪)ドル		98.77	98.38	0.40
NZ(ニュージーランド)ドル		90.48	90.26	0.24
シンガポールドル		112.13	112.10	0.03
中国人民幣元		20.950	20.969	▲0.09
インドルピー		1.8176	1.8178	▲0.01
インドネシアルピア(100ルピア)		0.9532	0.9539	▲0.07
メキシコペソ		9.143	9.122	0.22
ブラジルレアル		29.959	29.994	▲0.12
トルコリラ		4.728	4.705	0.48

注) CME: シカゴ・マーカンタイル取引所。CME日経平均先物は円建て契約で、単位:ポイント。
 MSCI WORLD、MSCI EMは米ドルベース。
 WTI(West Texas Intermediate)原油先物: ニューヨーク・マーカンタイル取引所(NYMEX)で取引される米国の代表的な原油先物。
 COMEX金先物: CMEグループを構成するニューヨーク商品取引所で取引される代表的な金先物。
 表中の数値は作成時点の数値であり、掲載時点の数値とは一致しない場合があります。
 前日差は原数値の比較であり、表記の数値とは四捨五入の関係で合致しない場合があります。
 本資料は、作成時点でRefinitivにおける情報が更新されていない場合、数値を記載できないことがあり、その場合、「#N/A」と表示しています。また、取引所が休場であっても、Refinitivにおいて数値が掲載されている場合は、当該数値を記載していることがあります。

出所) MSCI、Refinitivより当社経済調査室作成

主要国株式の動き



注) 直近値は2024年4月2日

出所) Refinitivより当社経済調査室作成

◆マーケットの動き:

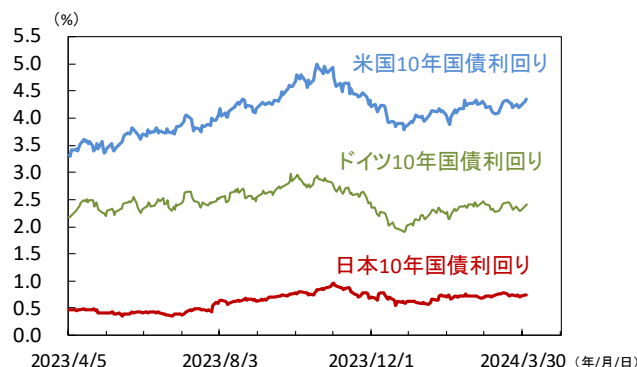
- 日本株はまちまち。前日の米国市場で米利下げが後ずれすると観測が高まるなか、積極的な買い姿勢は見られず。為替は介入警戒続き151円後半の推移を継続。
- 米国株は下落。堅調な経済指標などから米利下げの後ずれが意識され、株式市況は上値の重い動きが続く。
- 米10年国債利回りは一時4.4%台に到達。2月の米雇用動態調査(JOLTS)で求人件数が1月+874.8万人→875.6万人と堅調、製造業受注や耐久財受注も強い伸びを維持。
- サンフランシスコ連銀デーリー総裁とクリーブランド連銀マスター総裁は利下げを急ぐ必要はないとしながらも、2024年の利下げ回数は3回程度と予想。一方、金融市場の織り込む同利下げ回数は約2.8回と慎重姿勢。
- NY原油先物は続伸し1バレル85ドル台へ。3日に予定される石油輸出国機構(OPEC)プラスの共同閣僚監視委員会(JMMC)では、現行の減産体制が維持される見込み。
- 3月独消費者物価(CPI)は前年比で2月:+2.7%→+2.3%と3カ月連続で減速し年央の利下げ期待を後押しする内容。

◆本日の注目点:

ADP雇用統計・ISMサービス業景気指数

3月ADP雇用統計は前月比増加幅が2月+14.0万人→+15.0万人と堅調な伸びが維持される見通し。3月ISMサービス業景気指数も同52.6→52.8へ改善が予想され、拡大圏の維持が見込まれる。複数の米要人発言では利下げ開始時期の後ズレや、利下げペースが緩やかになる可能性が示唆されており、景気の堅調が高値圏にある株価の利益確定のきっかけになるおそれも。(清水)

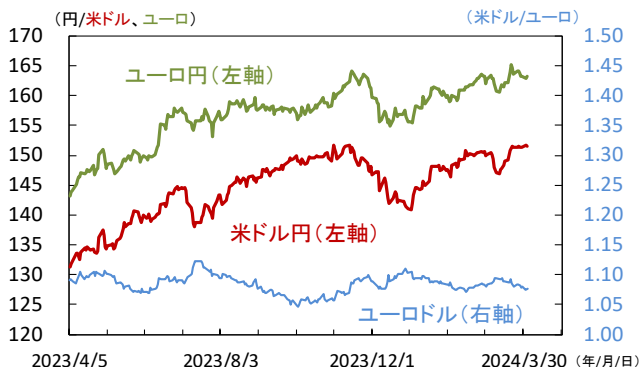
主要国金利の動き



注) 直近値は2024年4月2日

出所) Refinitivより当社経済調査室作成

主要通貨の動き



注) 直近値は2024年4月2日

出所) Refinitivより当社経済調査室作成

本資料に関してご留意頂きたい事項

- 本資料は、投資環境等に関する情報提供のために三菱UFJアセットマネジメントが作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。販売会社が投資勧誘に使用することを想定して作成したものではありません。
- 本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。
- 各ページのグラフ・データ等は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。
- 本資料に示す意見等は、特に断りのない限り本資料作成日現在の三菱UFJアセットマネジメント戦略運用部経済調査室の見解です。また、三菱UFJアセットマネジメントが設定・運用する各ファンドにおける投資判断がこれらの見解に基づくものとは限りません。

本資料中で使用している指数について

「日経平均株価」に関する著作権、知的所有権、その他一切の権利は日本経済新聞社に帰属します。
 TOPIX（東証株価指数）、東証REIT指数に関する知的財産権その他一切の権利は株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社に帰属します。
 ドイツ「DAX®」：本指数は、情報提供を目的としており、売買等を推奨するものではありません。
 FTSE International Limited(“FTSE”)©FTSE。 “FTSE®”はロンドン証券取引所グループ会社の登録商標であり、FTSE International Limitedは許可を得て使用しています。FTSE指数、FTSE格付け、またはその両方におけるすべての権利は、FTSE、そのライセンサー、またはその両方に付与されます。FTSEおよびライセンサーは、FTSE指数、FTSE格付け、もしくはその両方、または内在するデータにおける誤りや省略に対して責任を負わないものとし、FTSEの書面による同意がない限り、FTSEデータの再配布は禁止します。
 MSCI WORLD、MSCI EMに対する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。



三菱UFJアセットマネジメント

三菱UFJアセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
 加入協会：一般社団法人投資信託協会
 一般社団法人日本投資顧問業協会